



一般選抜入学試験要項 (受験ガイド)



大規模災害等、不測の事態により、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、大学ホームページにて随時公表いたしますので、出願等に当たっては、必ず大学ホームページにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対しEメールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、二次元コードもしくは大学ホームページ
(<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p1>) から
ご確認ください。



もっと日本を。もっと世界へ。



KOKUGAKUIN UNIV.

國學院大學

出願資格

出願資格

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者、および令和8年3月卒業見込みの者。
- ② 高等専門学校の3年次を修了した者、および令和8年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および令和8年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の課程を修了した者、および令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、またその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、および令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑥ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定試験に合格した者を含む）、および令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者。
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者。
- ⑧ 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者。

【目 次】

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	3
2. 入試日程・募集人員	8
3. 出願資格を証明する書類等	9
4. UCAROへの会員登録について	10
5. 出願手続について	11
6. 受験上の配慮について	14
7. 受験番号照会・受験票印刷について	15
8. 合否発表について	16
9. 入学検定料	18
10. スケジュール・教科・科目	
【1】V方式（大学入学共通テスト利用入試）	20
【2】A日程（全学部統一）	22
【3】B日程（後期）	25
11. 受験上の注意（A・B日程）	27
12. 試験会場所在地・案内図	28
13. 入学手続	31
14. 学費等納付金	32
15. 入試Q&A	33

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程（<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>）に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内の送付、法・観光まちづくり学部特別選考の案内送付、入学後の授業履修に関する諸連絡、本法人の國學院大學北海道短期大学部の案内書類送付 ※上記のほか、出願時に取得した情報（氏名、受験番号、生年月日、高等学校等コード、高等学校名、志願する入試制度、志望学部学科、調査書記載の学習成績の状況、検定・試験の成績）および入試成績情報を用いて、以下の分析等を行う場合があります。 (1) 高等学校・志望学部学科等、出願者の属性による入試成績状況、進学動向の把握 (2) 入学後の成績や履修状況と照合・分析し、入試時の状況と入学後の学修状況との関連性を把握 (3) 卒業後の進路情報と照合・分析し、入試時の状況と進路状況の関連性を把握 (4) 入学手続時に取得する情報（入学手続の有無、入学辞退時の進学先）と照合・分析し、本学出願者の進学動向を把握
データ項目	(1) 入学志願時に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校（高等学校等コードおよび高等学校等名、大学名・短期大学名（学士入学・編入学のみ））および卒業（見込）年月、志願する入試制度・学科（専攻）、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真、志願者アンケート回答内容 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日・受験番号・個人番号
保管期間	10年間

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

※アドミッション・ポリシー（以下AP）については、大学ホームページでも閲覧できます。

文学部

文学部は、日本や外国の言語・文化・思想・歴史に対して強い興味を持ち、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が扱うそれぞれの学問領域に関して、主体的な姿勢で学修に取り組むことのできる学生を受け入れます。

【日本文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- ・自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- ・日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		教科に関する試験で大学での学びに対応する学力を有しているかを確かめます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「文学国語」およびそれに相当する科目を履修していることが望まれます。

【中国文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本における中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・日本における中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科での学修に必要な国語（古文・漢文を含む）等の学力を十分に持つ者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「言語文化」「古典探究」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「歴史総合」および「世界史探究」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望まれます。

【外国語文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- ・英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- ・日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		外国語・外国文化を深く学ぶための総合的な学力を持つ者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」を身につけ、さらに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上の教科を学んでおくことが望まれます。以上に加えて、実用英語技能検定（英検）2級以上（CSE2.0：1,980以上）、TOEIC®L&R 500点以上を獲得できる英語能力を持つことが望まれます。

【史学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- ・歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- ・歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科での専門的学修に必要な日本史・世界史・地理に関する基礎知識、および歴史資料を理解し、学修の成果を発信するために必要な国語（古文・漢文）・英語などの言語能力を十分に備えた者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

【哲学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ・哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- ・文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の知識を持つ学生を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を身につけ、さらに「倫理」「公共」「政治経済」「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望まれます。

神道文化学部

◎求める人材、期待される入学者像

國學院大學神道文化学部は、神道を中心とする日本文化への高い関心と、国内外の宗教文化を広く学ぼうとする意欲とを持ち、宗教・文化の継承者として、人々の共存や社会の発展に寄与しようとする人材を受け入れます。

具体的には、次のような意欲・意志を持って、学びの成果を社会に活かそうとしている人材を求めています。

- (1) 神道の歴史・思想を学ぶ意欲を持つ者
- (2) 神道の社会的実践・社会貢献について学ぶ意欲を持つ者
- (3) 日本の伝統文化を深く学ぶ意欲を持つ者
- (4) 世界の宗教文化を広く学ぶ意欲を持つ者
- (5) 神社や神道系宗教団体の後継者として専門的な学びを志す者
- (6) 現代社会の文化と宗教との関係について広く学ぶ意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

人材受け入れのため、次の観点から受験生を選考します。

- (AP1) 神道を中心とする日本文化や国内外の宗教文化（以下「神道文化・宗教文化」）に関わる授業を履修するために必要となる高等学校卒業相当の知識と文章表現のための技能を身につけているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 他者の考えを的確に理解し、自らの考えを理論的かつ簡潔にまとめ、ことばで正確に表現できる能力を有しているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 神道文化・宗教文化を幅広く学ぼうとする意欲を持っているか。また、神道文化・宗教文化の学びの成果を活かして、社会への貢献を目指す意志を持っているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		神道文化学部での学修に必要な知識や表現力を持つ受験生を選考します。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

◎入学までに身につけるべき教科・科目

神道文化学部に入学者となる学生には、入学後の教育内容との関係上、「国語」「地理歴史」「公民」「外国語（英語）」の学習を求めます。

法学部

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため法学部は、法学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、法学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

法律専攻では、とくに次のような人材を求めています。

- ・法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者
- 法律専門職専攻では、とくに次のような人材を求めています。
- ・法律の専門的知識を活かす職業に就くことを目指しており、それに必要な基礎学力を持つ者
- 政治専攻では、とくに次のような人材を求めています。
- ・政治に関心を有し、将来政治に関する職業に就くことを目指す者、または、「よき市民」として政治に積極的に関わる意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

- (AP1) 法学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備える者〈知識・技能〉
- (AP2) 社会的な事象に対して問題意識を持ち、情報を収集・整理・分析し、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持つ者〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 教科外の活動に取り組み、その中でコミュニケーション能力などを培ってきた者〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	○			法学部での学修に必要な知識を持つ受験生を選考します。
V方式	大学入学共通テスト	○			法学部での学修に必要な知識や思考力、判断力、表現力を持つ受験生を選考します。

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学後の教育内容との関係で、本学部の入学者には、入学までに、「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」、基礎的な「数学」、基礎的な「理科」の学習を求めます。

経済学部

◎求める人材、期待される入学者像

経済学部は、経済と経営に関する教育を主軸に、主体的に人生を切り拓き、自ら選んだ分野で社会に貢献できる人材を育成します。このことを踏まえて本学部では、次の能力・資質・態度に優れた者を受け入れます。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 「英語」「国語」「数学」「地理歴史」「公民」を中心に、経済学部で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を備える者。〈知識・技能〉
- (AP2) 各自の問題関心に基づき、情報を収集・分析し、論理的に考え、自らの主張について根拠を示しながら表現できる能力を持つ者。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 他者と積極的に交流し、新しい知識や経験に対して主体的に学修する強い意欲を持つ者。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の学力を持つ学生を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		

- (AP1) 知識・技能
- (AP2) 思考力・判断力・表現力
- (AP3) 主体性・意欲・志向性

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「外国語」「政治・経済」「歴史総合」「地理総合」「数学」

【経済学科】

経済学科は、日本と世界の経済に関心と学修意欲を持ち、将来、企業や公務員を含むさまざまな分野で個性豊かに活躍することを目標とする、以下のような人材を求めています。

- ・経済理論を真摯に学び、仮説を立て、データを駆使して経済問題を分析したい者。
- ・数学的思考力を経済学の学修に生かし、向上させたい者。
- ・歴史的なアプローチにより、現代の経済問題を把握し、また分析したい者。
- ・現地調査の能力を高めて、地域経済の実態を分析し、より良いあり方を提示したい者。
- ・日本経済の発展要因と課題を理解し、将来に向けた政策を考察したい者。
- ・グローバルな視点で日本や地域の経済を意識しながら、世界経済の現状と課題を考察したい者。

【経営学科】

経営学科は、企業の経営・会計に関心と学修意欲を持ち、市場・組織・戦略に関する学習・研究を通じて、以下のような能力を磨き、将来社会で活躍できる人材を求めています。

- ・実践力と経営スキルを磨いて、企業などの組織の中で、ビジネスリーダーとして活躍したい者。
- ・創造力と課題解決力を磨いて、新たなビジネスに挑戦する企業経営者、起業家、事業承継者などとして活躍したい者。
- ・分析力と論理的思考力を磨いて、会計士、税理士、コンサルタントなどとして、あるいは金融にかかわる業務で活躍したい者。

人間開発学部

人間開発学部では、自らの資質・能力の向上と人間力育成を求めるとともに、教育者・指導者に強い志向性を有することが求められます。そのための基礎学力を持ち、自ら学ぼうとする学習意欲を保持し、十分なコミュニケーション力を有してそれをより高めようとする学生を受け入れます。

心身の発達に関する教養を総合的に身につけていくため、幅広い分野に関心を持って学んできており、さらに、今後の学生生活・卒業後の進路について展望を持っている学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

【初等教育学科】

初等教育学科では、日本の教育への関心と理解があり、教育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識や技能の修得を目指して、「教育の専門家」を志す意欲の高い学生を受け入れます。

【健康体育学科】

健康体育学科では、身体運動や身体諸機能への関心と理解があり、健康の維持増進のあり方と多様なスポーツに関する専門的な知識や技能の修得を目指して、様々なライフステージでの健康・体育分野への寄与を志す意欲の高い学生を受け入れます。

【子ども支援学科】

子ども支援学科では、幼児教育・保育への関心と理解があり、幼児教育・保育の諸領域における現代的課題に応じた専門的な知識や技能の修得を目指して、「子どもの育ちと子育てを支援する専門家」を志す意欲の高い学生を受け入れます。

- ◎入学者選考の観点
 (AP1) 知識・技能
 (AP2) 思考力・判断力・表現力
 (AP3) 主体性・意欲・志向性

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A 日程・B 日程	個別学力試験	◎			高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の学力を持った者を受け入れます。
V 方式	大学入学共通テスト	◎			

◎入学までに身につけるべき教科・科目
 教師や指導者になるためには、幅広い分野に関心を持って学ぶ姿勢が必要です。そのための基本的な能力は言語力であり、「国語」や「外国語」の修得はもちろんのこと、「数学」や「理科」など得意な教科・科目があればさらに望ましいです。

日常生活の中において学習する習慣をつけていることが大切であり、本学部で学修する上で、高校での修学以外に、次にあげるいずれかの能力検定試験相当の学力をもつことが望まれます。

- ・日本漢字能力検定：準 2 級以上
- ・日本語検定：3 級以上
- ・実用英語技能検定：準 2 級以上
- ・歴史能力検定（世界史または日本史）：3 級以上
- ・実用数学技能検定：準 2 級以上
- ・理検STEP：2 級以上など、高校中級以上のレベル

観光まちづくり学部

- 【観光まちづくり学科】**
 ◎求める人材、期待される入学者像
- ・観光・交流を通じた持続可能な地域の形成や振興に関する学問的な基礎を学びたいという意欲がある者。
 - ・上記の学問的な基礎をもとに、地域社会の再生、活性化及びまちづくりに貢献したいという意欲がある者。
 - ・既存分野の壁を越えて能動的に学ぶ向上心を保持し、積極的に地域に働きかけようという意欲がある者。
- ◎入学者選考の観点
- (AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備えているか。〈知識・技能〉
 - (AP2) 地域社会やその持続可能性に対して問題意識を持ち、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
 - (AP3) 自身の興味・関心にしたがって、主体的に活動に取り組み、またはその成果について第三者からの評価を得ているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A 日程・B 日程	個別学力試験	◎	○		高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の学力を持つ学生を受け入れます。
V 方式	大学入学共通テスト	◎	◎		

◎入学までに身につけるべき教科・科目
 「国語」「数学」「外国語（「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」）」を中心とした基礎学力を前提に、「地理歴史」「公民」「理科」の中から幅広く学習していること。

2. 入試日程・募集人員

【入試日程】

入試制度		出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続期間(消印有効)
V方式 (大学入学共通 テスト利用)	前出願	1月5日(月)～1月16日(金)	1月17日(土)・ 1月18日(日)	2月14日(土)	【第1次手続】入学金のみ納入 2月14日(土)～2月19日(木) 【第2次手続(最終)】 入学手続書類提出および学費等 納付金納入 2月23日(月)～3月6日(金)
	後出願 ※人間開発学部のみ対象	1月5日(月)～1月22日(木)			
A日程	3教科型	1月5日(月)～1月22日(木)	2月2日(月)	2月14日(土)	【第1次手続】入学金のみ納入 2月14日(土)～2月19日(木) 【第2次手続(最終)】 入学手続書類提出および学費等 納付金納入 2月23日(月)～3月6日(金)
	最高得点科目重視型		2月3日(火)		
	学部学科特色型 英語外部試験利用型		2月4日(水)		
B日程		1月5日(月)～2月20日(金)	3月2日(月)	3月11日(水)	3月11日(水)～3月18日(水)

【募集人員※2】

学部	学科	専攻	入学定員	募集人員		
				A日程※1	B日程	V方式
文	日本文		250	91	28	25
	中国文		60	15	5	5
	外国語文化		120	42	6	9
	史		190	78	20	10
	哲		65	22	8	9
神道文化	神道文化		180	60	11	14
法	法律	法律専攻	500	162	18	22
		法律専門職専攻		36	3	3
		政治専攻		32	3	3
経済	経済		255	105	25	26
	経営		255	105	25	26
人間開発	初等教育		110	41	6	17
	健康体育		150	48	5	14
	子ども支援		70	24	3	5
観光まちづくり	観光まちづくり		300	85	30	33

※1 A日程の募集人員は、3日間(3教科型・最高得点科目重視型・学部学科特色型・英語外部試験利用型)の合計です。また、各入試制度の志願者数により調整を行う場合があります。

※2 出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回ることがあります。

※ 上記一般選抜入学試験以外に総合型選抜・学校推薦型選抜でも学生募集を行っています。

3. 出願資格を証明する書類等

【出願資格を証明する書類（調査書等）】全員提出必須

出願資格を証明する書類は、原則として**令和7年10月1日以降に発行されたもの**を提出してください。同時に複数の試験日程へ出願もしくは併願する場合は、**証明書類（調査書等）は1通で結構です（出願用封筒1枚につき1通提出してください）**。ただし、一度出願し、後日追加出願する場合には、**証明書類（調査書等）1通を新たに提出する必要があります**。

高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者、および令和8年3月卒業見込みの者	出身（在籍）学校長が発行した「 調査書 」（学校所定用紙、開封無効） 既卒生の場合、卒業後に発行されたもので可（卒業見込で発行されたものは不可） ※卒業後年数が経過しており「調査書」の発行が不可能な場合は、「卒業（修了）証明書」を提出してください。 ※大規模災害等により、「調査書」の発行が不可能な場合は本学までお問合せください。
高等専門学校第3学年修了者 または令和8年3月修了見込者	
在外教育施設修了（見込）者	
外国における12年の課程を修了した者または修了見込者	「 修了（見込）証明書 」と「 成績証明書 」 ※日本と外国両方の学校に在籍した場合は日本の学校在学中の「 調査書 」もあわせて提出してください。
専修学校等課程修了者	
高等学校卒業程度認定試験、大学入学資格検定試験の合格者または合格見込者	「 合格証明書 」または「 合格成績証明書 」（合格見込者は「 合格見込成績証明書 」）
文部科学大臣の指定した者 個別の入学資格審査により出願を認められた者	関係する証明書等を提出してください。なお、必要な証明書については令和7年11月29日（土）までに、 入学課（03-5466-0141） にお問い合わせください。

【英語検定試験の証明書】A日程2/4（英語外部試験利用型）志願者全員

B日程で英語検定試験のスコアを利用する志願者のみ

英語検定試験で利用できる証明書等は下表の通りです（B日程におけるスコア・換算点はP.26参照）。下表にないもの（Web上での結果通知画面のスクリーンショット等）は成績の証明として認められません。

検定試験	証明書等
実用英語技能検定(英検)※1	合格証明書・CSEスコア証明書・個人成績表・デジタル証明書※4
TOEIC® L&RおよびS & W	公式認定証
GTEC(検定版またはCBT)	Official Score Certificate
TEAP(R/L+W/S)※1	成績表
TEAP CBT※1	
ケンブリッジ英語検定	合格証明書
TOEFL iBT®※2	Official Score Reports(Test Taker Score Report)
IELTS(アカデミック・モジュール)※3	Test Report Form

※1は、成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。

そのほかの検定試験の証明書類は、原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます（原本証明がなされたコピーの作成手順はP.34を参照してください）。

※2は、自身のアカウントからダウンロードしたPDFのコピーを提出してください。

※3は、テストセンターからの直送制度を利用する場合、送付先の機関名をKokugakuin University、担当部署をAdmissions Officeとし、渋谷キャンパス宛に郵送依頼をしてください。

※4は、プレビュー画面をプリントアウトしたものの提出を受け付けます。

4. UCAROへの会員登録について



本学の一般選抜入学試験では出願から合否照会・入学手続までUCAROを利用してします。

UCARO（ウカロ）とは、会員登録（無料）すると、出願状況の確認や受験番号の照会、受験票の印刷、合否照会、入学手続をWeb上で行うことができるシステムです。また大学からの入学試験に関するメッセージを受け取ることや、出願に関するスケジュールを確認することもできます。出願時に会員登録することもできますが、出願前に会員登録することを推奨します。

【会員登録】

<https://www.ucaro.net> にアクセスし、会員登録のページから以下の手順で会員登録を行ってください。会員登録にはメールアドレスが必要です。



※「@ucaro.net」からのメールが受信できるようにあらかじめ設定をしてください。



お気に入り大学を選択し（少なくとも1つ）、会員登録は完了です。

① <https://www.ucaro.net> にアクセスし「ログイン | 会員登録」をクリック。遷移後のページの下部にある「新規会員登録」をクリック。

② 個人情報の取扱いを同意後、メールアドレスを入力し「送信する」をクリック。本登録用のURLが記載されたメールが配信されます。

③ メールに記載されたURLから画面の指示に沿って登録します。その後、出願を希望する大学を選択し、会員登録は完了です。

※他大学へ出願した際にUCAROへの会員登録をした方は再度会員登録をする必要はありません。

※氏名や住所などの個人情報を入力する際に、標準文字（JIS第1・第2水準漢字）以外の漢字は登録エラーになります。エラーになる場合は、代替の漢字（代替の漢字がなければカタカナ）を入力してください。入学手続時に正式な表記をご申請してください。

【UCAROの機能について】

出願情報をUCARO上に反映させることで、以下のようなことができます。

受験番号照会・受験票出力



受験一覧



合否照会



入学手続



※合否結果は、メニューから「受験一覧」にアクセスし「合否照会」から確認してください。

入学手続には入学金等の納付、UCAROへの入力および、本学への書類送付が必要となります（本学から書類送付は行いません）。※上記の図はイメージであり、実際の画面と異なる場合があります。

【UCAROに関する問い合わせ】 UCARO事務局・Web出願ヘルプデスク

受験生本人がお問い合わせください。電話：03-6634-6494 時間：10：00～18：00 ※年末年始（12月30日～1月3日）を除く。

5. 出願手続について

注 意 点

事前に準備、確認 する こと

- ・パソコン、またはスマートフォンからインターネットを通じてWeb出願登録を行います。
- ・インターネットでのWeb出願システムによる出願登録だけでは出願完了となりません。必ず、支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類を提出期限までに**速達・簡易書留郵便にて送付**してください。
- ・住所等の個人情報が変更になった場合は、必ず入学課（03-5466-0141）まで連絡してください。
- ・出願にあたって提出された書類は返還しません。
- ・UCAROへの会員登録
 本学では令和8年度A日程・B日程およびV方式（大学入学共通テスト利用）において、出願・受験票印刷・合格発表・入学手続まで受験生が利用するシステムを集約したサイト「UCARO」を使用します。出願にあたっては、UCAROへの会員登録（無料）が必要となります。UCAROの概要、会員登録については、P.10の「UCAROへの会員登録について」を参照してください。（会員登録URL：<https://www.ucaro.net>）
- ・写真
 出願にあたっては、すべての一般選抜入学試験で**デジタル写真（ファイル形式：JPEG）**が必要です。P.12《出願写真に関する注意点》を併せて参照してください。なお、出願時に登録したデジタル写真は、入学後の学生証に使用します。
- ・メールの設定
 Web出願登録完了時と入学検定料支払い完了時に、登録されたメールアドレスにメールが送られます。ドメイン（@ucaro.jp）からの受信許可設定をしてください。
- ・出願資格を証明する書類（調査書等）
 出願資格を証明する書類は、原則として**令和7年10月1日以降に発行されたもの**を提出してください。**同時に複数の試験日程へ出願もしくは併願する場合は、証明書類（調査書等）は1通で結構です（出願用封筒1枚につき1通提出してください）**。ただし、一度出願し、後日追加出願する場合には、**証明書類（調査書等）1通を新たに提出する必要があります**。
- ・入学検定料の支払い
 入学検定料はコンビニエンスストア、クレジットカード、ペイジー（金融機関ATM）、ネットバンキングのいずれかで支払うことができます。また、支払いには入学検定料のほかに、手数料が必要となります。
- ・パソコンの動作環境/推奨ブラウザ
 [Windows] Microsoft Edge /Chrome /Firefox
 [Mac OS] Safari
- ・スマートフォンの動作環境/推奨ブラウザ
 Android OS12~/iOS15～
 ※搭載端末の標準ブラウザを使用してください。ブラウザのバージョンは最新のものを使用してください。上記以外（LINEのブラウザやGoogleアプリなど）の利用環境ではうまく機能しない可能性もございますのでご了承ください。また、小さな画面での操作は入力ミスを起こしやすいので、パソコンからの出願をお勧めします。
- ※パソコンで閲覧する場合もスマートフォンと同内容のサイトが表示されます。
 また、一部のブラウザ、バージョンでは、表示が崩れる場合がありますのでご了承ください。
- ※スマートフォン（タブレット）からは、画面および宛名ラベルなどについて印刷機能が使用できない、または正常に印刷できません。必要事項はメモを取っておいてください。
- ※フィーチャーフォン（ガラケー）には対応していません。
- ※Javascriptの使用が無効に設定されている場合は、一時的に有効に設定してください。
- ※クッキー（Cookie）の使用が無効に設定されている場合は、一時的に有効に設定してください。
- ※プラットフォームもしくはキャリアによるアップデートや設定変更等により、うまく機能しない可能性もございますのでご了承ください。
- ※出願が完了したら、上記の対応で変更した設定をもとの状態に戻してください。
- ※各スマートフォンの設定方法については、スマートフォンのマニュアルを確認するか、スマートフォンのキャリア（docomo, KDDI, SoftBankなど）のサポートセンターに問い合わせてください。

出願手順

① Web出願システムへアクセス

出願期間内に大学ホームページ（<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission>）から Web 出願システムへアクセスしてください。または、UCARO にログイン後、「学校をさがす・出願する」を選択し、学校一覧の「出願する」から本学の Web 出願システムにアクセスすることも可能です。

② Web 出願システムより出願登録

入力画面に沿って入力し、登録を進めてください。

STEP1

出願する試験日程・学部・学科・専攻・試験科目、個人情報の入力

- ・ Web 出願時に入力する氏名および調査書等に記載の氏名は、住民票に記載されている本名または通称名にて統一してください。
 - ・ 一般選抜入学試験 A 日程のみ地方試験会場を選択することができます。
 - ・ 一般選抜入学試験 B 日程では「外国語」を試験科目に含むすべての学科において、英語検定試験の利用有無が選択可能です。
 - ・ 入学検定料の合計金額を確認することができます。
 - ・ 大学入学共通テストの情報等を web で入力してください。（本学では令和 8 年度より Web API 方式を採用いたします。）
- ※ web 出願上で申込番号が承認されない場合は、入学課までご連絡ください。

STEP2

主体的に取り組んだ活動の入力

学校内外問わず、過去 3 年間程度で主体的に取り組んだ活動を 1 つ選び、200～800 字で入力してください。

提出されたものは、合否判定には使用せず、入学後の教学上の参考資料として活用します。

STEP3

出願写真のアップロードと必要書類の確認

- ・ デジタル写真（ファイル形式：JPEG）は画面の案内に従ってアップロードしてください。
 - ・ 「必要書類の確認」画面に表示された必要書類を郵送してください。
- 必要書類のうち、「出願資格を証明する書類（調査書等）」については P.9 を参照してください。

《出願写真に関する注意点》

- ・ 10MB を超える写真は登録できません。
- ・ 推奨サイズは VGA（640×480）です。
- ・ 入学後の学生証に使用しますので高等学校等の制服を着用した写真はご遠慮ください。
- ・ 本人のみが写っている写真を使用してください。
- ・ カラー写真のみとします。
- ・ 3 カ月以内に撮影したものを使用してください。
- ・ 上半身、正面、焦点が合っている、脱帽、背景無しであることを確認してください。
- ・ 眼鏡着用の場合、レンズは無色透明とします。
- ・ 不鮮明または加工されている写真、髪で目や輪郭が隠れている写真、帽子・マスクを着用して撮影した写真など適切でないと判断された場合は、再度提出になることがあります。
- ※写真データは画面上でサイズ調整した後に登録することができます。適宜調整してください。
- ※すべての一般選抜入学試験でデジタル写真のアップロードが必要です。
- ※A 日程・B 日程では、入学試験当日に出願写真と受験者本人を試験室で照合します。

《受付できない写真例》



高等学校等の制服を着用している



壁やスマートフォン等の影がかかっている



正面を向いていない



不鮮明な写真



顔が遠すぎる

STEP4

入学検定料の支払方法を選択

- ・支払方法の詳細は「③入学検定料の納入」を参照してください。
- ・入学検定料の**支払い後は、出願情報（学部・学科・試験科目等）および個人情報の変更は一切できません**ので、ご注意ください。
- 住所等の個人情報が変更になった場合は、必ず入学課（03-5466-0141）までご連絡ください。
- ・入学検定料の支払い期限までに入学検定料が支払われていない場合、出願は認められません。複数の入試日程に同時に出願した場合の支払い期限は、最も早い入学試験の出願締切日となります。

STEP5

入学志願票と宛名ラベルの印刷

- ・出願登録完了画面上の「郵送書類」より、STEP1で入力した出願情報および個人情報が反映された「入学志願票」と必要書類送付時に必要となる「宛名ラベル」を印刷します。

③入学検定料の納入

- ・入学検定料のほかに、1回の出願ごとに手数料（1,200円）が必要となります。
- ・入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに入学検定料支払い完了メールが届きます。
- ・入学検定料の納入方法の詳細は、Web出願サイトより遷移できる決済サイト上の表示内容を参照してください。
- ・一度納入した入学検定料は返還しません。

④必要書類の郵送

- ・登録内容が反映された「**入学志願票**」のほか、「**出願資格を証明する書類（調査書等）**」を**市販の封筒（角型2号）**に封入し、「宛名ラベル」を貼付の上、**速達・簡易書留**で郵送してください（**出願書類の郵送状況は、「郵便追跡サービス」にてご確認ください**）。
- ・A日程2/4英語外部試験利用型に出願する場合、B日程で英語検定試験のスコアを利用する場合は、英語検定試験の証明書（P.9参照）を提出してください。



《支払方法》

支払方法／取扱金融機関	支払期限	備考
クレジットカード ・VISA ・MasterCard ・JCB ・AMERICAN EXPRESS ・Diners Club	Web出願登録完了後、各日程の出願締切日の23:59まで ※複数の日程を同時出願した場合は、一番早い日程の出願締切日の23:59までとなります。	受験生本人の名義でなくとも構いません。
コンビニエンスストア ・セブンイレブン ・ローソン、ミニストップ ・ファミリーマート ・デイリーヤマザキ ・セイコーマート		支払金額の上限 (300,000円未満)
ペイジー〔金融機関ATM〕		
ネットバンキング		

■Web出願に関する問い合わせ

出願登録、入金方法、写真アップロードなどについての問い合わせはUCARO・Web出願ヘルプデスクをご利用ください。

UCARO・Web出願ヘルプデスク 03-6634-6494

(受付期間・時間：出願期間に準じる／10:00～18:00／年末年始（12月30日～1月3日）を除く。)

6. 受験上の配慮について

身体等の障がいや病気・負傷により受験配慮を希望する者に対して、申請内容に基づき審査の上、症状や状態等に応じた受験上の配慮を行います。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

また、許可された内容については入学後の配慮を確約したものではありませんので、あらかじめご了承ください。申請期限を過ぎての申請は受け付けることができませんので、必ず期間内に申請をお願いいたします。

ただし、申請期限後に不慮の事故や急な発病により受験上の配慮が必要になった場合に限り、速やかに本学入学課まで問い合わせください。

【受験上の配慮事例】

区分	配慮事項
視覚障がい	点字文字冊子・解答用紙の配付／拡大問題冊子・解答用紙の配付／試験時間の延長／リーディングルーラーの使用／定規の使用(文章を読む際の補助具)／拡大鏡の使用
聴覚障がい	注意事項等の文書による伝達／座席を前列に指定／補聴器または人工内耳の装用／開始と終了の合図／面接試験での文字化
肢体不自由	チェック解答／試験時間の延長／1階またはエレベーターが利用可能な試験室で受験／車椅子、杖の持参使用／多目的トイレの使用
病弱	別室受験／試験教室入口までの付添者の同伴／座席配慮／デジタル耳栓(通信機能なし)の使用／保護者が待機
発達障がい	別室受験／試験時間の延長／拡大問題冊子・解答用紙の配付／チェック解答／自己マッサージ／試験中のストレッチ
その他	薬の服用・インスリンポンプの使用・喘息用の小型吸入器の使用、またそれらの机上常備／イヤーマフの使用／耳栓の使用

※別室受験については、原則個室ではありません。

※A日程の地方会場では別室のご用意ができません。ご希望の方は本学会場での受験となります。

※申請方法：必要事項を大学ホームページ（受験上の配慮申請について（令和8年度入学試験受験者用））より入力し、期間内に申請してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6>

※申請期限：＜一般選抜 A 日程＞令和8年1月4日（日）

＜一般選抜 B 日程＞令和8年2月2日（月）



7. 受験番号照会・受験票印刷について

入学検定料が納入され、出願書類が本学に到着し、不備なく手続きが終了した方から順次、UCARO「受験一覧」上のステータスが「出願登録受理」に変わり、出願が正常に完了したことをお知らせします。ステータス反映に時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ただし、出願締切日直前・直後に提出された出願書類に不備が見つかったなどの場合については、UCARO「受験一覧」上のステータスにかかわらず、出願が認められないことがありますので、十分ご注意ください。

受験票は、大学から送付はいたしません。UCAROからダウンロードして印刷してください。受験票の印刷と受験番号は、下記期間に順次UCAROで公開いたします。

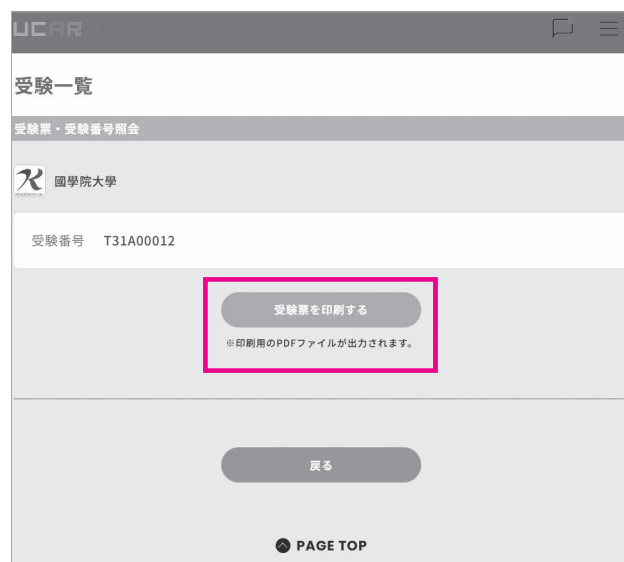
V方式・A日程：1月28日（水）～1月30日（金）

B日程：2月27日（金）～2月28日（土）

※期間内に受験票が公開されない場合は、入学課（03-5466-0141）までご連絡ください。

UCAROでの作業手順

- ①UCAROにログインし、「受験一覧」より受験票を印刷したい、もしくは受験番号照会したい受験内容を選択し、「受験票・受験番号照会」をクリックする。
- ②対象の受験番号と「受験票を印刷する」ボタンが表示される。
受験票はPDFで印刷する（A日程・B日程）。



※上記の図はイメージであり、実際の画面と異なる場合があります。

※V方式（大学入学共通テスト利用入試）は受験番号の付番のみで、受験票は発行されません。

※試験当日（A日程・B日程）は、UCAROからダウンロードして**A4サイズで印刷した受験票を必ず持参**してください。

試験場へは受験票を提示して入場してください。

※本システムの「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学試験日を過ぎての受験は認めません。

※表示された受験票に記載されている「カナ氏名」、「試験日」、「出願学部学科専攻」、「事前登録科目」、「試験会場」等を必ず確認してください。なお、入学検定料納入後に個人情報（氏名・住所・電話番号）を誤って登録していることに気付いた場合は、速やかに入学課（03-5466-0141）までご連絡ください。

注意 学部内併願をした際の受験票について

B日程（3月2日）において学部内併願制度を利用した場合、併願した学科数分の受験番号は付番されますが、受験票の閲覧・印刷はそのうちの1学科（日本文学科）のみとなります。なお、印刷できる学科の受験票には、学部内併願したすべての学科の受験番号が記載されています。

8. 合否発表について

合 格 発 表	UCAROの個別合否照会画面で発表します。合格（不合格）通知書は送付しません。 UCARO上での発表は、試験制度ごとに定められている合格発表日の12:00より公開する予定です。
合 否 判 定	合否判定は総合点（値）によります。なお、 <u>未受験の科目や0点の科目がある場合には、他の科目の得点にかかわらず合否判定の対象外</u> となります。
成 績 開 示	一般選抜（A日程・B日程）の不合格者には、成績を開示します。成績は、UCAROの「受験一覧」より、対象の試験日の「成績照会」ボタンより確認するものとし、令和8年5月上旬から5月中旬までを開示期間とします（合否判定の対象外となった場合は、成績開示を行いません）。

繰上合格の取り扱いについて

繰上合格候補

繰上合格発表

繰上合格発表期間
(予定)

そ の 他

注 意 事 項

繰上合格候補者は合格者ではなく、入学手続に欠員が生じた場合にのみ、合格者として認められる**資格を有する者**です。繰上合格候補者となった場合は、UCAROの個別合否照会画面で選考結果と合わせて通知いたします。

正規合格者の入学手続状況に応じて、繰上合格候補者に対する繰上合格発表を行います。繰上合格候補者に対する繰上合格発表は、UCAROの個別合否照会画面で通知します。

繰上合格発表日		入学手続期間	備考
1回目	2月26日(木)	2月26日(木)～3月6日(金)	V方式・A日程
2回目	3月11日(水)	3月11日(水)～3月18日(水)	V方式・A日程
3回目	3月23日(月)	3月23日(月)～3月26日(木)	V方式・A日程・B日程

※入学手続状況によっては、上記日程以降も繰上合格候補者に合格を認めることがあります。3月23日(月)以降に合格となった者には、大学から本人へ電話で連絡をし、入学の意思があるか確認を行なうことがあります。

①

繰上合格の有無に関してのお問い合わせには一切応じかねます。

②

繰上合格となり、かつ入学の意思がある場合、大学が指定した日時までに入学手続を完了してください。なお、入学手続の延期は一切認めません。

大学への電話・郵送・窓口等での合否の問い合わせには応じません。また「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締切日を過ぎての入学手続は認めません。

合否照会の作業手順

- ① UCAROにログインし、「受験一覧」より合否照会したい試験日を選択し、「開く」をクリックする。
- ② 対象の試験日の合否照会ボタンが表示される。



- ③ 「合格」「不合格」それぞれの場合、以下のような画面表示となる。

<合格時>



<不合格時>



※上記の図はイメージであり、実際の画面と異なる場合があります。

9. 入学検定料

本学では、一般選抜入学試験（V方式・A日程・B日程）において、複数出願で大幅に入学検定料が減免される「応援割」を実施しています。

①入試制度別の入学検定料

各入学試験制度における1学科（専攻）あたりの検定料は以下の通りです。

入試制度	出願数	検定料
V方式	1学科（法学部は1専攻）	18,000円
	2学科目以降	10,000円
A日程 B日程	1回目	35,000円
	2回目以降※	20,000円

※B日程は、同一年度のA日程に1回以上出願している場合

②学部内併願した場合の入学検定料

B日程（3月2日）では、文学部の日本文学科と中国文学科で併願をすることができます。

学部内併願する場合の追加の入学検定料は、**10,000円**です。

出願学科数	金額	（出願学科）
1	35,000円	日本文学科
2	45,000円	日本文学科・中国文学科

③複数の制度を併願した場合の入学検定料

V方式とA日程を**同時出願**した場合の入学検定料は以下の通りです。

入試制度	割引前	➡	割引後	合計金額
V方式	18,000円	➡	13,000円	43,000円
A日程	35,000円	➡	30,000円	

【複数出願のモデルケース】

「応援割」を利用した複数出願のモデルケースを、以下にご紹介します。

モデルケース1 大学入学共通テスト利用を中心に受験を検討

$$\begin{array}{c} \text{V方式} \\ 18,000\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{V方式} \\ 10,000\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{V方式} \\ 10,000\text{円} \end{array} = \begin{array}{r} \del{54,000\text{円}} \\ 38,000\text{円} \end{array}$$

モデルケース2 大学入学共通テスト利用に加え、A・B日程でも受験を検討

$$\begin{array}{c} \text{V方式} \\ 13,000\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{A日程} \\ 2/2 \cdot 3 \cdot 4 \text{ いずれか1日} \\ 30,000\text{円} \end{array} = \begin{array}{r} \del{53,000\text{円}} \\ 43,000\text{円} \end{array}$$

モデルケース3 A・B日程を中心に受験を検討

$$\begin{array}{c} \text{V方式} \\ 13,000\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{A日程} \\ 2/2 \\ 30,000\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{A日程} \\ 2/3 \\ 20,000\text{円} \end{array} + \begin{array}{c} \text{B日程} \\ 20,000\text{円} \end{array} = \begin{array}{r} \del{123,000\text{円}} \\ 83,000\text{円} \end{array}$$

※上記の金額は初めて出願する場合、およびV方式・A日程を同時に出願した場合の例です。

大規模災害等にかかる令和8年度入学志願者に対する特別措置について

令和7年4月1日から入学試験日前日（書類選考の場合は、出願締切日）までに、主たる家計の支持者が「災害救助法適用地域」に居住し被災、または、「災害救助法適用地域」に単身赴任および出張等で重度の被災を受けた志願者を対象に、入学検定料を免除する制度があります。出願時に、①大規模災害に伴う入学検定料特別措置申請書（本学ホームページからダウンロードできます）、②公的機関が発行する「罹災証明書」（写し可）の2点を提出（同封）してください。申請方法についてはWeb出願ページ「出願の流れ」でご確認ください。

10. 【1】V方式（大学入学共通テスト利用入試）

スケジュール

出願期間	前出願	令和8年1月5日(月)～1月16日(金)（消印有効）
	後出願	令和8年1月5日(月)～1月22日(木)（消印有効） ※人間開発学部のみ対象
試験日	令和8年1月17日(土)・1月18日(日) ※令和8年度「大学入学共通テスト受験案内」をご参照ください。	
合格発表日	令和8年2月14日(土)	
入学手続き期間 【送付期間】	第1次	令和8年2月14日(土)～2月19日(木)（消印有効） ※入学金のみ納入
	第2次（最終）	令和8年2月23日(月)～3月6日(金)（消印有効） ※入学手続き書類提出および学費等納付金納入

※注意事項

- ① 本学での個別試験は行いません。
- ② 合否判定に使用する成績は、令和8年度大学入学共通テストの結果のみです。
- ③ 複数の学科（専攻）の併願が可能です。

教科・科目等

学部	学科（専攻）	科目数 満点	必須 選択区分	教科	共通テスト採用科目	採用 科目数	配点	備考
文	日本文 中国文	3科目 800点	必須	国語	『国語』	1	400	※200点満点を2倍換算
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			
	外国語文化 哲	3科目 500点	必須	国語	『国語』（近代以降の文章）	1	200	※110点満点を200点に換算
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	100	※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			
	史	3科目 600点	必須	国語	『国語』	1	200	
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			
神道文化	神道文化	3科目 600点	必須	国語	『国語』	1	200	
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			
神道文化	神道文化	3科目 600点	必須	国語	『国語』	1	200	
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			
神道文化	神道文化	3科目 600点	必須	国語	『国語』	1	200	
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			
神道文化	神道文化	3科目 600点	必須	国語	『国語』	1	200	
				外国語	『英語』（リスニング含む）『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』（第1解答科目のみ利用可）	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用
				数学	『数学I、数学A』『数学II』『数学II、数学B、数学C』（高得点の1科目を採用）			

学部	学科 (専攻)	科目数 満点	必須 選択区分	教科	共通テスト採用科目	採用 科目数	配点	備考
法	法律 (法律 法律専門職 政治)	全科目のうち,最高得点の科目を2倍配点						
		3科目 800点	必須	国語	『国語』(近代以降の文章)	1	200	※110点満点を200点に換算
				外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・ リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『公 共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受 験した場合は,最高得点の科 目を合否判定に利用
				数学	『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (高得点の1科目を採用)			
経済	経済 経営	全科目のうち,最高得点の科目を2倍配点						
		3科目 800点	必須	国語	『国語』(近代以降の文章)	1	200	※110点満点を200点に換算
				外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・ リスニング各100点
			選択	地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『地 理総合／歴史総合／公共』『公共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)	1	200	※100点満点を2倍換算 ※左記の教科から2科目以上受 験した場合は,最高得点の科 目を合否判定に利用
				数学	『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (高得点の1科目を採用)			
情報	『情報I』							
人間開発	初等教育 健康体育 子ども支援 (3科目型 前期)	3科目 600点	必須	国語	『国語』	1	200	
			選択	外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	2	200 × 2 科目	※『英語』はリーディング・ リスニング各100点 ※『外国語』以外の教科は,100 点満点を2倍換算 ※左記の教科から3科目以上 受験した場合は,高得点の 2科目を合否判定に利用
				地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『地 理総合／歴史総合／公共』『公共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)			
				数学	『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (高得点の1科目を採用)			
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 (第1解答科目のみ利用可)			
	情報	『情報I』						
	初等教育 健康体育 子ども支援 (5科目型 前期)	5科目 1,000点	必須	国語	『国語』	1	200	
			選択	外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	4	200 × 4 科目	※外国語・国語以外の教科は 100点満点を2倍換算 ※左記6教科のうち,国語(必須) 200点と高得点だった4教科 を採用
				地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『地 理総合／歴史総合／公共』『公共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)			
				数学	『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (2科目受験者は最高得点科目を採用)			
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 (第1解答科目のみ利用可)			
	情報	『情報I』						
	初等教育 健康体育 子ども支援 (4科目型 後期)	4科目 1,000点	選択	国語	『国語』	4	1000	※外国語・国語以外の教科は 100点満点を2倍換算 ※左記6教科のうち,高得点だ った4教科を採用 ※4教科のうち,最高得点の1教 科を2倍換算(400点)
				外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』			
				地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『地 理総合／歴史総合／公共』『公共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)			
数学				『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (2科目受験者は最高得点科目を採用)				
理科				『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 (第1解答科目のみ利用可)				
情報	『情報I』							
観光 まちづくり	観光 まちづくり (3科目型)	3科目 600点	必須	外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・ リスニング各100点
			選択	国語	『国語』	2	200 × 2 科目	※『国語』以外の教科は,100点 満点を2倍換算。 ※左記の教科から3科目以上受 験した場合は,高得点の2科 目を合否判定に利用
				地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『地 理総合／歴史総合／公共』『公共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)			
				数学	『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (高得点の1科目を採用)			
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 (第1解答科目のみ利用可)			
	情報	『情報I』						
	観光 まちづくり (5科目型)	5科目 1,000点	必須	外国語	『英語』(リスニング含む)『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1	200	※『英語』はリーディング・ リスニング各100点
			選択	国語	『国語』	4	200 × 4 科目	※『国語』以外の教科は,100点 満点を2倍換算。 ※左記の教科から5科目以上受 験した場合は,高得点の4科 目を合否判定に利用
				地理歴史、 公民	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』『地 理総合／歴史総合／公共』『公共,倫理』『公共,政治・経済』 (第1解答科目のみ利用可)			
				数学	『数学I,数学A』『数学I』『数学II,数学B,数学C』 (最大2科目利用可)			
理科				『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 (第1解答科目のみ利用可)				
情報	『情報I』							

10. 【2】A日程（全学部統一）

スケジュール

《A日程 共通スケジュール》

出願期間	令和 8 年 1 月 5 日(月)～1 月22日(木) （消印有効）			合格発表日	令和 8 年 2 月14日(土)
試験日 ・ 試験会場	試験会場		試験日	2/2(月)・2/3(火)・2/4(水)	
	本学会場	渋谷キャンパス	文学部 (日本文・外国語文化学科) 神道文化学部 法学部・経済学部		
		横浜たまプラーザ キャンパス	文学部 (中国文・史・哲学科) 人間開発学部・観光まちづくり学部		
	地方会場	札幌・仙台・新潟・ 長野・静岡・名古屋・ 大阪・福岡		全学部	
				入学手続 期間 【送付期間】	【第 1 次】 ※入学金のみ納入 令和 8 年 2 月14日(土)～2 月19日(休) (消印有効) 【第 2 次】 ※入学手続書類提出および学費等納 付金納入 令和 8 年 2 月23日(月)～3 月 6 日(金) (消印有効)

注意事項

- ・A日程では、1日1学科（専攻）に出願することができます。
- ・A日程の試験会場は、本学会場の他に**札幌・仙台・新潟・長野・静岡・名古屋・大阪・福岡の地方会場**があります。**地方会場での受験希望者は、出願時に必ず試験会場の登録をしてください。**なお、各会場の収容定員を超えた場合は、本学会場での受験となります。
- ・出願時に試験教科・科目を登録します。教科・科目の詳細はP22・23・24表を確認してください。誤りがないか必ず確認してください。
- ・2月2日(月)の文学部日本文学科・中国文学科については、「渋谷キャンパス近隣の施設（青山学院大学青山キャンパス）」で実施する場合があります。受験票で確認してください。
- ・試験当日の試験教科・科目や試験会場変更は一切認められません。

試験時間・教科・科目等

※A日程の試験の解答方式は、すべてマークセンス方式です。

【3教科型】令和8年2月2日（月）10:00集合

3科目の偏差値の合計により合否を判定します。

※得点は偏差値に換算

学部	学科・専攻		1時限目	2時限目	3時限目
			10：30～11：30(60分)	12：40～13：40(60分)	14：30～15：30(60分)
			教科・科目・配点等	教科・科目・配点等	教科・科目・配点等
文	日本文		国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章40点、古文40点、漢文20点）	【出願時に選択】 選択科目 100点【必須】 以下から択一 日本史：歴史総合・日本史探究 世界史：歴史総合・世界史探究 公民：公共、政治・経済 数学①：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率） 数学②：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率）、数学Ⅱ、数学B（数列・統計的な推測）、数学C（ベクトル） ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択する場合、2時限目は「数学」のみ選択可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法学部は数学①、経済・観光まちづくり学部は数学②を選択。人間開発学部は数学①・数学②のいずれかを選択。	外国語 100点【必須】 ＜英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞
	中国文				
	史				
	外国語文化				
	哲				
神道文化	神道文化		国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文【択一】30点）		
法	法律	法律			
		法律専門職			
		政治			
経済	経済				
	経営				
人間開発	初等教育				
	健康体育				
	子ども支援				
観光まちづくり	観光まちづくり				

【最高得点科目重視型】令和8年2月3日(火) 10:00集合

3科目中最高値の1科目を2倍に換算し、他の2科目と合わせた合計により可否を判定します。 ※得点は偏差値に換算

学部	学科・専攻		1時限目	2時限目	3時限目
			10：30～11：30(60分)	12：40～13：40(60分)	14：30～15：30(60分)
			教科・科目・配点等	教科・科目・配点等	教科・科目・配点等
文	日本文		国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章40点、古文40点、漢文20点） 【出願時に選択】 選択科目 100点【必須】 以下から択一 日本史：歴史総合・日本史探究 世界史：歴史総合・世界史探究 公民：公共、政治・経済 数学①：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率） 数学②：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率）、数学Ⅱ、数学B（数列・統計的な推測）、数学C（ベクトル） ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択する場合、2時限目は「数学」のみ選択可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法学部は数学①、経済・観光まちづくり学部は数学②を選択。人間開発学部は数学①・数学②のいずれかを選択。	外国語 100点【必須】 ＜英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞	
	中国文				
	史				
	外国語文化				
	哲				
神道文化	神道文化	100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章〔必須〕70点、近代以降の文章・古文・漢文〔択一〕30点）			
法	法律	法律			
		法律専門職			
		政治			
経済	経済	【出願時に選択】			
	経営	国語または理科 〈国語〉 現代の国語・言語文化（近代以降の文章〔必須〕70点、近代以降の文章・古文・漢文〔択一〕30点） 〈理科〉 試験当日に以下3科目から1科目選択 ・物理（物理基礎＋物理） ・化学（化学基礎＋化学） ・生物（生物基礎＋生物）			
人間開発	初等教育				
	健康体育				
	子ども支援				
観光まちづくり	観光まちづくり				

【学部学科特色型】令和8年2月4日(水) 10:00集合

学部・学科により判定科目数・配点比率が異なります。 ※英語外部試験利用型との併願はできません。 ※得点は偏差値に換算

学部	学科・専攻		1時限目	2時限目	3時限目
			10：30～11：30(60分)	12：40～13：40(60分)	14：30～15：30(60分)
			教科・科目・配点等	教科・科目・配点等	教科・科目・配点等
文	日本文		国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章40点、古文40点、漢文20点）	【出願時に選択】 選択科目 100点【必須】 [史学科以外] 以下から択一 日本史：歴史総合・日本史探究 世界史：歴史総合・世界史探究 公民：公共、政治・経済 数学①：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率） 数学②：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率）、数学Ⅱ、数学B（数列・統計的な推測）、数学C（ベクトル） ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択する場合、2時限目は「数学」のみ選択可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法学部は数学①、経済・観光まちづくり学部は数学②を選択。人間開発学部は数学①・数学②のいずれかを選択。	
	中国文				
	史				
	外国語文化				
	哲				
神道文化	神道文化		100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章〔必須〕70点、近代以降の文章・古文・漢文〔択一〕30点）		
法	法律	法律			
		法律専門職			
		政治			
経済	経済	【出願時に選択】 国語または理科 〈国語〉 現代の国語・言語文化（近代以降の文章〔必須〕70点、近代以降の文章・古文・漢文〔択一〕30点） 〈理科〉 試験当日に以下3科目から1科目選択 ・物理（物理基礎＋物理） ・化学（化学基礎＋化学） ・生物（生物基礎＋生物）			
	経営				
人間開発	初等教育				
	健康体育				
	子ども支援				
観光まちづくり	観光まちづくり				

■学部学科特色型の判定科目数・判定方法

学部	学科・専攻		判定科目数	2倍換算の科目	判定方法
文	日本文		3	国語	3科目の合計で判定
	中国文		3	選択科目・国語	
	外国語文化		3	外国語	
	史		3	選択科目	
	哲		3	国語	
神道文化	神道文化		2※	—	国語は必須とし、外国語・選択科目の上位1科目との2科目で判定
法	法律	法律	2※	—	上位2科目で判定
		法律専門職			
		政治			
経済	経済		3	成績上位2科目	3科目の合計で判定
	経営				
人間開発	初等教育		3	成績上位2科目	3科目の合計で判定
	健康体育				
	子ども支援				
観光まちづくり	観光まちづくり		3	選択科目	3科目の合計で判定

【英語外部試験利用型】令和8年2月4日(水) 10:00集合

英語検定試験スコアを出願要件とし、2科目で受験可能です。※学部学科特色型との併願はできません。※得点は偏差値に換算

学部	学科・専攻		1時限目	2時限目	3時限目
			10：30～11：30(60分)	12：40～13：40(60分)	14：30～15：30(60分)
			教科・科目・配点等	教科・科目・配点等	教科・科目・配点等
文	日本文	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章40点、古文40点、漢文20点）	【出願時に選択】 選択科目 100点【必須】 [史学科以外] 以下から択一 日本史：歴史総合・日本史探究 世界史：歴史総合・世界史探究 公民：公共、政治・経済 数学①：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率） 数学②：数学Ⅰ、数学A（図形の性質・場合の数と確率）、数学Ⅱ、数学B（数列・統計的な推測）、数学C（ベクトル） ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択する場合、2時限目は「数学」のみ選択可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法学部は数学①、経済・観光まちづくり学部は数学②を選択。人間開発学部は数学①・数学②のいずれかを選択。 [史学科] 以下から択一 日本史：歴史総合・日本史探究 世界史：歴史総合・世界史探究		
	中国文				
	史				
	外国語文化				
	哲				
神道文化	神道文化	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化（近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文【択一】30点）			
法	法律				法律
					法律専門職
					政治
経済	経済				【出願時に選択】 国語または理科 〈国語〉 現代の国語・言語文化（近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文【択一】30点） 〈理科〉 試験当日に以下3科目から1科目選択 ・物理（物理基礎＋物理） ・化学（化学基礎＋化学） ・生物（生物基礎＋生物）
	経営				
人間開発	初等教育				
	健康体育				
観光まちづくり	子ども支援				
	観光まちづくり				

【出願要件】 英語検定試験で、各学部・学科において定めるCEFRレベルまたはスコア（下表参照）を満たす者。出願要件として利用可能な英語検定試験の種類およびCEFRレベルの基準については、下表において特に明記がない限り、B日程〔英語検定試験の利用について〕に示す一覧表（P.26）に準ずる。CEFRレベル・スコアは令和5年4月以降に取得したものを有効とする。

■英語外部試験利用型の判定科目数・判定方法

学部	学科・専攻		CEFRレベル・スコア	判定方法
文	日本文		A2以上	・2科目（選択科目と国語）合計で判定 ・国語を2倍換算
	中国文			
	外国語文化		B1以上	・2科目（選択科目と国語）合計で判定
	史		A2以上	・2科目（選択科目と国語）合計で判定 ・選択科目を2倍換算
	哲		B1以上	・2科目（選択科目と国語）合計で判定 ・国語を2倍換算
神道文化	神道文化		A2以上	・2科目（選択科目と国語）合計で判定
法	法律	法律	A2以上	・2科目（選択科目と国語）合計で判定 ・選択科目と国語のうち、成績上位の科目を2倍換算
		法律専門職		
		政治		
経済	経済		B1以上	・2科目（選択科目と国語／理科）合計で判定
	経営			
人間開発	初等教育		いずれか1つの条件を満たしていること。 ■実用英語技能検定(英検)：【準1級】【2級】1950点以上 ■TEAP(R/L+W/S)：225点以上、TEAP(CBT)：420点以上 ■GTEC(検定版 Advanced・CBT)：930点以上	・2科目（選択科目と国語／理科）合計で判定
	健康体育			
	子ども支援			
観光まちづくり	観光まちづくり		B1以上	・2科目（選択科目と国語／理科）合計で判定

10. 【3】B日程（後期）

《学部内併願について》

文学部の日本文学科と中国文学科で併願が可能です。

スケジュール

出願期間		令和 8 年1月5日(月)～2月20日(金) （消印有効）		合格発表日	令和8年3月11日(水)
試験日		令和 8 年 3 月 2 日(月)		入学手続 期間 【送付期間】	令和8年3月11日(水)～3月18日(水)（消印有効）
試験会場	本学会場 のみ	渋谷キャンパス	文・神道文化・法・経済学部		
		横浜たまプラーザキャンパス	人間開発・観光まちづくり学部		

試験時間・教科・科目等

※B日程の試験の解答方式は、**地理歴史・数学は記述式、その他の科目はすべてマークセンス方式**です。
※得点（素点）の合計で可否を判定します。

学科によって試験の方法や配点が異なりますので、該当部分を熟読したうえで、出願してください。史学科および法・経済・人間開発・観光まちづくり学部は受験教科を出願時に選択することが必要です。試験当日の変更は一切認められません。

集合時刻は、最初に受験する科目の試験開始30分前となります。

学部	学科・専攻		科目数 満点	1時限目	2時限目	3時限目
				10：30～11：30(60分)	12：40～13：40(60分)	14：30～15：30(60分)
				教科	教科	教科
文	日本文 中国文		2科目 200点	国語(古典)(100点※)	国語(現代文)(100点)	
	外国語文化		2科目 300点		国語(現代文)(100点)	外国語(200点)
	史		2科目 250点	国語(古典)(100点※) 【出願時に選択】	地理歴史(150点)	外国語(100点) 【出願時に選択】
	哲		2科目 200点		国語(現代文)(100点)	外国語(100点)
神道 文化	神道文化		2科目 300点		国語(現代文)(200点)	外国語(100点)
法	法律 法律専門職 政治		2科目 200点	数学(100点) 【出願時に選択】	国語(現代文)(100点)	外国語(100点) 【出願時に選択】
経済	経済 経営		2科目 200点	数学(100点) 【出願時に選択】	国語(現代文)(100点) 【出願時に選択】	外国語(100点) 【出願時に選択】
人間 開発	初等教育 健康体育 子ども支援		3科目 300点	数学または国語(古典)(100点※) 【出願時に選択】	国語(現代文)(100点)	外国語(100点)
観光 まちづくり	観光まちづくり		2科目 200点	数学(100点) 【出願時に選択】	国語(現代文)(100点) 【出願時に選択】	外国語(100点)

※国語（古典）は古文60点、漢文40点。

科目

教科(科目)	科目・出題範囲	学部(学科)	配点	解答方式
外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	全学部 ※文(日本文・中国文・外国語文化)以外	100	マークセンス方式
		文(外国語文化)	200	
国語(現代文)	現代の国語・言語文化(古文・漢文を除く)	全学部 ※文(史)、神道文化以外	100	
		神道文化	200	
国語(古典)	言語文化(古文・漢文)・古典探究	文(日本文・中国文・史)、人間開発	100	記述式※1
地理歴史	地理総合・地理探究・歴史総合・日本史探究・歴史総合・世界史探究	文(史)	150	
数学	数学Ⅰ、数学A (図形の性質・場合の数と確率)	法、経済、人間開発、観光まちづくり	100	

※1 記述式の解答では学力の3要素である「思考力・判断力・表現力等」を評価します。

英語検定試験の利用について

B日程では、「外国語」を試験科目に含むすべての学科において、本学の外国語試験に加えて英語検定試験のスコアを利用することができます。スコアを提出したうえで本学の外国語の試験を受験した場合は高い方の得点を合否判定に利用します。

CEFR ※1	本学での 換算点※2	各検定のスコア※3							
		実用英語技能検定 (英検)※4	TOEIC® L&R および S&W ※5	GTEC ※6	TEAP (R/L+W/S) ※7	TEAP CBT ※7	ケンブリッジ 英語検定※8	TOEFL iBT® ※9	IELTS (アカデミック・ モジュール) ※9
C2	100 点						230 200	120 114	9.0 8.5
C1	100 点	3299 2600	(3299) 1390 1305	1400 1350	400 375	800	199 180	113 95	8.0 7.0
B2	90 点	2599 2300	(2599) 1級 1300 1095	1349 1180	374 309	795 600	179 160	94 72	6.5 5.5
B1	70 点	2299 1950	(2299) 準1級 (2304) 1090 790	1179 930	308 225	595 420	159 140	71 42	5.0 4.0
A2	50 点	1949 1700	(1949) 2級 (1980) 785 385	929 680	224 135	415 235	139 120		

- ※1 各検定試験の証明書に記載される、4 技能 (Reading, Listening, Writing, Speaking) 総合での CEFR レベルを指します。4 技能総合 CEFR が判定されていない場合は、スコアの利用はできません。
- ※2 外国語文化学科は換算点を2倍にして判定します。
- ※3 令和5年4月以降に取得したものに限り、また、各種試験の得点は素点となります。
- ※4 従来型・新方式 (S-CBT、S-Interview) いずれも可。上表に示す CEFR レベルを満たしていれば、合否は問いません。ただし、取得した CSE スコアが受験級において CEFR 算出外となる場合は、スコアの利用はできません。
- ※5 TOEIC® は L&R および S&W 両試験の受験およびスコアが必須となります。また、TOEIC® IP は不可とします。
- ※6 GTEC は受験年度により、同一のスコアでも証明書記載の CEFR レベルが異なる場合があります。GTEC の成績を利用する場合は、証明書記載の CEFR レベルにかかわらず、4 技能合計スコアに基づいて得点換算を行います。なお、オフィシャルスコアのみ利用可とし、検定版は Core,Basic,Advanced いずれも可とします。
- ※7 TEAP は異なる試験日のスコアを合算できません。
- ※8 ケンブリッジ英語検定 4 技能 CBT (Linguaskill) は不可とします。
- ※9 自宅受験形式は不可とします。

◆証明書等の提出について

英語検定試験のスコアを利用する場合、出願書類として、証明書等の提出が必要になります。提出できる証明書の種類はP.9を参照してください。

11. 受験上の注意 (A・B日程)

開 場 時 刻

午前 9 時

試験教室には、掲示で該当の試験教室を確認のうえ、下記集合時刻までに入室し、自分の受験番号の席に着席してください。

【集合時刻】 A 日程：午前10時、B 日程：最初に受験する科目の試験開始30分前。

受 験 票

試験当日に必ず持参し、試験会場入口で提示してください (UCARO より印刷。P.15参照)。

遅 刻 (入場限度)

A 日程は 1 時限目の試験開始後20分までを入場限度とします。B 日程は判定に必要な教科・科目の最初の時限の試験開始後20分までを入場限度とします。入場限度に間に合わなかった場合、それ以降の時限を含めすべて欠席となります。事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。

なお、試験会場周辺の公共交通機関 (バス・タクシーは除く) に大幅な乱れ・遅れが生じ、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合には、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。対応措置を講ずる場合は、大学ホームページ (www.kokugakuin.ac.jp) に掲載しますので、確認してください。また、このことに伴う受験者の個人的損害について、本学は一切責任を負いませんのでご了承ください。

退 室

- ① 試験教室からの退室は、監督者の指示に従ってください。
- ② 入場後は試験が終了するまで試験会場の外に出ることはできません。

試験時間中の 注 意 事 項

- ① 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。
- ② 試験時間中に机の上に置けるものは、「受験票」のほかに、「筆記具 (HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可)」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」「時計 (辞書、電卓、通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・学習タイマー・大型のものを除く)」「メガネ」です。これら以外の所持品を使用または置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ③ 「定規 (定規の機能を備えた鉛筆等を含む)」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「ウェアラブル端末」「ICレコーダー」「スマートグラス」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。
- ④ アラームや時報機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除してください。
- ⑤ 携帯電話等の通信機器は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- ⑥ 試験時間中に以下の物を使用することができます (ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります)。「座布団」「ひざかけ」「ティッシュペーパー」「目薬・点鼻薬」「ハンカチ・ハンドタオル」「マスク」
※いずれも、文字・格言や地図等がプリントされていないものに限りです。
- ⑦ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑧ 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着ている場合は脱いでもらうことがあります。
- ⑨ 「帽子・パーカーのフード」の着用は、特段の事由がない限り認めません。
- ⑩ 試験時間中の発病または用便等やむを得ない場合には、手を挙げてその旨を申し出て監督者の指示に従ってください。なお、一時退室が認められた場合でも、試験教室以外での受験はできません。また、試験時間の延長も認められません。

不正行為

以下のことをすると不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、既に受験した試験も無効となります。また、不正行為の内容によっては、警察に通報する場合があります。

- ① カンニング (カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど) をすること。
- ② 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ③ 試験監督者の指示に従わず、問題冊子を開いて解答を始めたり、解答を続けること。
- ④ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者に利益を与えるような行為をすること。
- ⑤ その他、試験の公正性・公平性を損なう行為をすること。

感染症に関する 注 意 事 項

試験当日、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症 (新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等) に罹患し治療していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。

また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分に注意してください。

ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた際には、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。

そ の 他

- ① 昼食は各自で用意をしてください。試験場内での販売はしていません。
- ② 上履きを持参する必要はありません。
- ③ 試験会場へは公共交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。
- ④ 試験中は、原則として受験者以外は試験会場に入ることはできません。付添控室はありません。
- ⑤ 試験時間中の喫煙は禁止です。
- ⑥ 本学には駐車場はございません。本学周辺の公道における自家用車の乗降および駐車は、一時的なものであっても事故や混雑の原因になりますので、ご遠慮ください。

不測の事態への 対応について

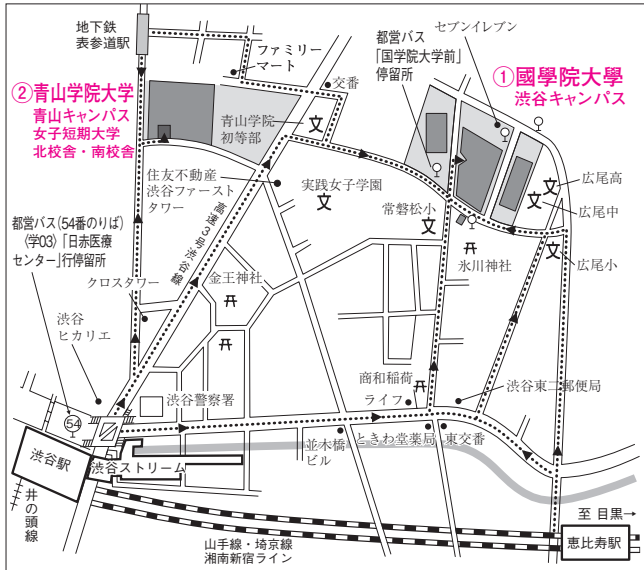
大規模自然災害等の不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。

これらの対応措置を講ずる場合は、大学ホームページ (www.kokugakuin.ac.jp) に掲載しますので、確認してください。なお、このことに伴う受験者の個人的損害について、本学は責任を負いかねますのでご了承ください。

12. 試験会場所在地・案内図

試験会場は、入試制度・学部学科によって異なりますので必ず受験票で確認してください。
本項目に記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。

渋谷キャンパス試験会場



①国学院大学 渋谷キャンパス

＜所在地＞ 〒150-8440

東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞

渋谷駅東口方面出口から徒歩約13分、または、渋谷駅東口バスターミナル（54番のりば）より都営バス＜学03系統＞「日赤医療センター前」行き（運賃180円 ※IC178円）「国学院大学前」下車

②青山学院大学 青山キャンパス女子短期大学北校舎・南校舎

＜所在地＞ 〒150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25

＜交通機関＞

渋谷駅より徒歩10分または、東京メトロ表参道駅より徒歩5分 ※女子短期大学北校舎・南校舎へは西門よりお入りください。

横浜たまプラーザキャンパス試験会場



国学院大学 横浜たまプラーザキャンパス

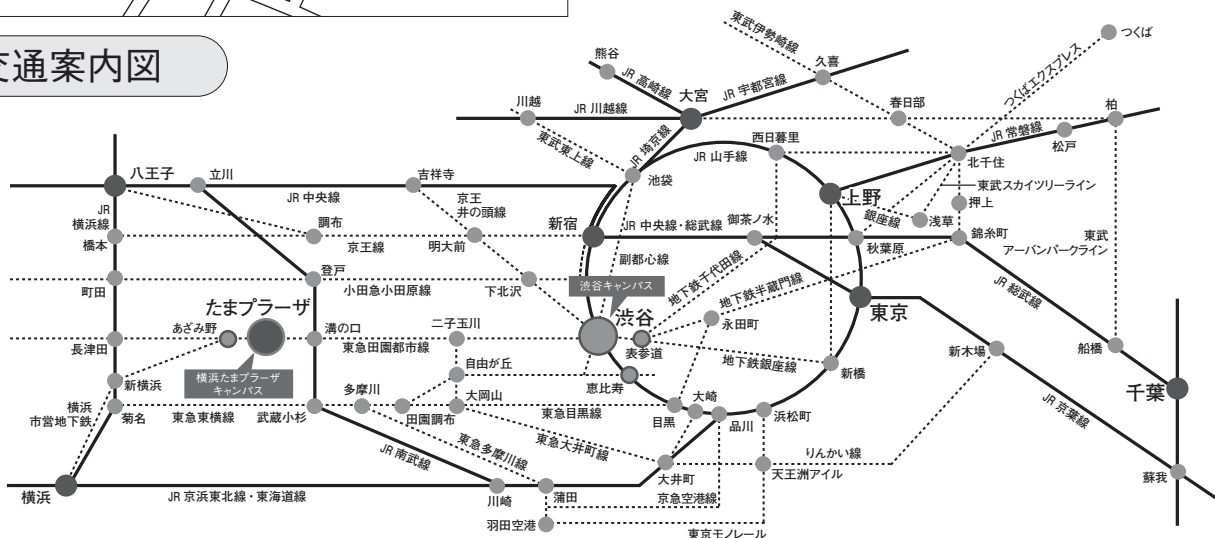
＜所在地＞ 〒225-0003

神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞

渋谷駅より東急田園都市線（長津田・中央林間方面行き）にて約25分（東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ）たまプラーザ駅下車、南口より徒歩約5分

交通案内図



地方会場

☆地方会場での入学試験実施は、A日程の3日間（2/2・3・4）のみです。

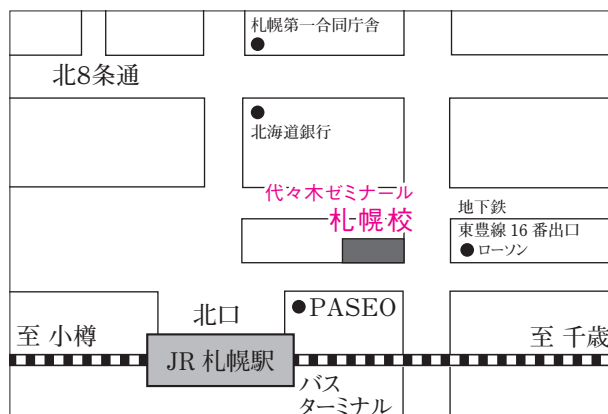
● 札幌 試験会場

代々木ゼミナール札幌校

<所在地> 〒060-0807

北海道札幌市北区北7条西2-5

＜交通機関＞ JR札幌駅北口、地下鉄（東豊線）「さっぽろ」駅16番出口より徒歩1分、地下鉄（南北線）「さっぽろ」駅北改札口より徒歩5分



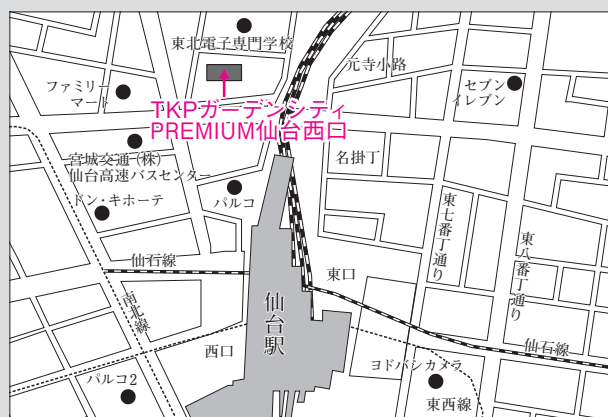
● 仙台 試験会場

TKPガーデンシティPREMIUM 仙台西口

<所在地> 〒980-0013

宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ

＜交通機関＞ IR「仙台」駅西口より徒歩3分



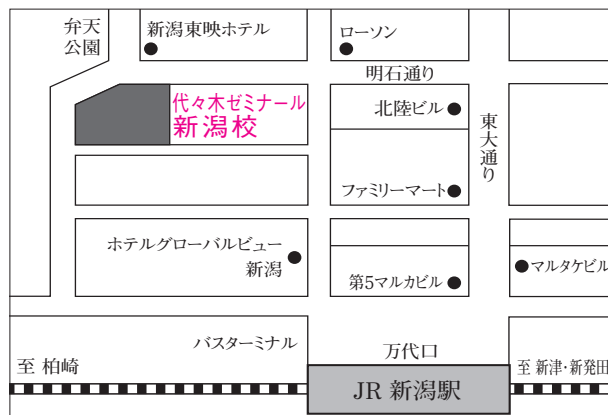
●新潟 試験会場

代々木ゼミナール新潟校

<所在地> 〒950-0901

新潟県新潟市中央区弁天 1-4-18

<交通機関> JR「新潟」駅万代口より徒歩3分



●長野 試験会場

長野ターミナル会館

<所在地> 〒380-8568

長野県長野市中御所岡田178-2

<交通機関> IR「長野」駅善光寺口より徒歩8分



● 静岡 試験会場

レイアップ御幸町ビル

<所在地> 〒420-0857

静岡県静岡市葵区御幸町11-8

<交通機関> JR静岡駅北口より徒歩3分、
静岡鉄道「新静岡」駅より徒歩5分



● 名古屋 試験会場

TKP名古屋栄カンファレンスセンター

<所在地> 〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄3-2-3

名古屋日興証券ビル7階

TKP名古屋栄カンファレンスセンター

<交通機関> 地下鉄東山線・名城線「栄」駅より8番出口徒歩8分



● 大阪 試験会場

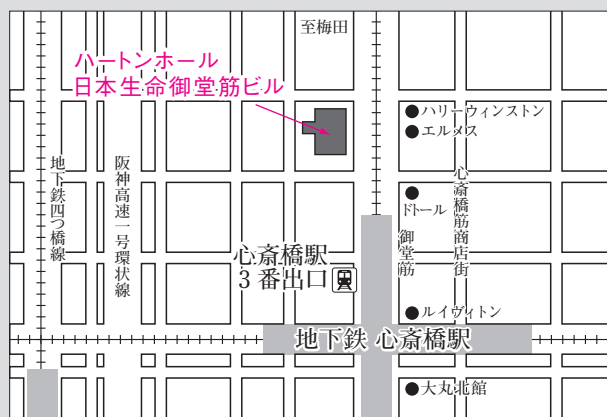
ハートンホール日本生命御堂筋ビル12F

<所在地> 〒542-0081

大阪府大阪市中央区南船場4-2-4

日本生命御堂筋ビル12F

<交通機関> 地下鉄御堂筋線「心斎橋」駅3番出口より徒歩約2分



● 福岡 試験会場

博多バスターミナル

<所在地> 〒812-0012

福岡県福岡市博多区博多駅中央街2

<交通機関> JR「博多」駅博多口から徒歩1分



13. 入学手続

入学の意思がある方は、以下に従い所定の手続を完了させてください。詳細は「UCARO」の入学手続画面を参照ください。

V方式の合格者は、大学入試センターから交付された「令和8年度大学入学共通テスト受験票」を入学手続書類として大学へ提出する必要があります。

入学手続期間

A日程・V方式 合格者	第1次(入学金納入)	令和8年2月14日(土)～2月19日(木) ※郵送受付のみ(締切日消印有効)
	第2次(最終)	令和8年2月23日(月)～3月6日(金) ※郵送受付のみ(締切日消印有効)
B日程合格者		令和8年3月11日(水)～3月18日(水) ※郵送受付のみ(締切日消印有効)

入学手続方法

入学手続期間・方法は入学試験制度によって異なります。該当する期間外での入学手続は一切認められませんので、ご注意ください。

V方式・ A日程	合格発表時に入学金の「振込用紙」をUCAROより印刷し、第1次入学手続を進めてください。 その後、第1次入学手続完了者は、UCAROより所定の手続期間内に第2次入学手続を進めてください。 第1次手続を行っても、第2次手続期間に学費等納付金の納付を行わなかった場合、入学の権利は消失します。
-------------	--

第1次 入学手続期間	國學院大學へ入学する意思のある方は、第1次入学手続期間内に以下の手続を行ってください。 ①銀行窓口で「入学金」(240,000円)を納付 ②振込連絡票(大学提出用：A票)を大学へ送付(第1次入学手続締切日消印有効) ③UCAROより本人・保証人情報等の入力 ①入学金を、最寄りの銀行または信用金庫の窓口から本学が指定する銀行口座に納付してください(銀行等のATM・ネットバンク・ゆうちょ銀行・コンビニエンスストアは利用できません)。 ②入学金を納付しても、振込連絡票(大学提出用：A票)を大学に提出しない場合は、第1次入学手続を完了したことになりません。 ★期日までに第1次入学手続が完了していない者は、第2次入学手続はできません。 ★いかなる理由があっても入学手続を延期することはできません。 ★一度納付された入学金は、最終的に入学手続をとらない場合でも返還できません。
---------------	---



第1次 入学手続完了者	第1次入学手続完了者は、UCAROより第2次入学手続に進むことができます。
----------------	---------------------------------------



第2次(最終) 入学手続期間	國學院大學へ入学する意思のある方は、第2次(最終)入学手続期間内に以下の手続を行ってください。 ①UCAROより学費等納付金「振込用紙」を印刷 ②銀行窓口で「学費等納付金」を納付 ③「入学手続書類」を大学へ送付(第2次(最終)入学手続締切日消印有効) ※各入学手続書類は、UCAROから印刷してください。 ②学費等納付金を、最寄りの銀行または信用金庫の窓口から本学が指定する銀行口座に納付してください(銀行等のATM・ネットバンク・ゆうちょ銀行・コンビニエンスストアは利用できません)。納付は前期分のみとなります。後期分の納付については、入学後にご案内を送付いたします。 ③学費等納付金を納付しても、「入学手続書類」を提出しない場合は、第2次(最終)入学手続を完了したことになりません。 ★期日までに第2次(最終)入学手続が完了していない者には、入学を許可しません。 ★詳細は、UCAROの入学手続ページ内で公開する「入学手続要項」を確認してください。 ★いかなる理由があっても入学手続を延期することはできません。
-------------------	--



第2次(最終) 入学手続完了者	入学手続完了者には、3月下旬に「新入生案内」を公開します。
--------------------	-------------------------------

B 日程	UCARO より学費等納付金「振込用紙」等を印刷の上、手続きを進めてください。
入学手続期間	國學院大學へ入学する意思のある方は、入学手続期間内に以下の手続きを行ってください。 ①銀行窓口で「学費等納付金」を納付 ②UCARO より本人・保証人情報等の入力 ③「入学手続書類」を大学へ送付(入学手続締切日消印有効) ※各入学手続書類は、UCARO から印刷してください。 ①学費等納付金を、最寄りの銀行または信用金庫の窓口から本学が指定する銀行口座に納付してください(銀行等のATM・ネットバンク・ゆうちょ銀行・コンビニエンスストアは利用できません)。納付は前期分のみとなります。後期分の納付については、入学後にご案内を送付いたします。 ②学費等納付金を納付しても、「入学手続書類」を提出しない場合は、入学手続を完了したことになりません。 ★期日までに入学手続が完了しない者には、入学を許可しません。 ★詳細は、UCARO 画面上の指示を参照してください。 ★いかなる理由があっても入学手続を延期することはできません。 ★一度納付された入学金は、最終的に入学手続をとらない場合でも返還できません。

入学手続完了者 入学手続完了者には、3月下旬に「新入生案内」を公開します。

入学辞退について

入学手続完了後、やむを得ない事由により入学を辞退する場合、令和8年3月31日(火)17時までに所定の申請手続を終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細はUCAROの入学手続ページ内で公開します。

14. 学費等納付金

学費等納付金について

(単位：円)

	文学部	経済学部	法学部	神道文化学部	人間開発学部	観光まちづくり学部
入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
授業料	830,000	830,000	830,000	830,000	850,000	800,000
施設設備費	210,000	210,000	210,000	210,000	250,000	250,000
維持運営費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
諸費	25,300	27,300	28,300	25,300	25,300	25,300
初年度合計	1,315,300	1,317,300	1,318,300	1,315,300	1,375,300	1,325,300
前期分（入学手続時）	795,300	797,300	798,300	795,300	825,300	800,300
後期分（入学後）	520,000	520,000	520,000	520,000	550,000	525,000

- 備考 1. 中国文学科は、上記文学部の金額に中国学生会費2,000円が加算されます。
2. 入学後、履修する授業によっては、別途費用がかかる場合があります。
3. 後期分以降の学費等納付金の納付につきましては、口座振替となります。詳細については入学後にご案内します。
4. 上記は令和7年度学費等納付金です。令和8年度学費等納付金については変更となる場合があります。

15. 入試Q&A

■出願について

Q A日程で複数日程を受験する場合、日程ごとに出席する学科が異なっても問題ありませんか？

A 問題ありません。

Q V方式のみで出席を完了した後、追加出席でA日程に出席したのですが、併願割引は適用されないのですか？

A 適用されません。V方式とA日程の出席による割引は、同時出席の場合のみ適用されます。

Q メールアドレスの登録は携帯電話のアドレスでも可能ですか？

A 構いません。なお、登録するメールアドレスは、携帯電話等必ず連絡がつくものにしてください。登録したメールアドレスは、出席登録や入金完了の通知のほか、入学試験に関する緊急連絡に使用しますので、ドメイン (@ucaro.jp) の受信許可設定をしてください。

Q 出席登録した後に入力内容の誤りに気付いたのですが、変更できますか？

A 出席期間内であれば、変更が可能ですので、速やかに入学課 (03-5466-0141) までご連絡ください。

Q 出席登録した後で、出席した内容や、入学検定料の入金状況を確認することはできますか？

A 出席登録後、出席番号が発行されます。出席画面トップの「ログイン」ボタンより、ご自身のアカウントでログインすると、自分が登録した内容および入金状況を確認できます。入学検定料が未入金の場合、出席は認められませんので、必ず確認してください (P.15参照)。

Q 志願票・宛名ラベルはどこから印刷できますか？

A 入学検定料を入金後に、出席登録完了画面上の「郵送書類」から印刷できます。入学志願票と宛名ラベルを印刷する前に画面を閉じてしまった場合には、再度Web出席システムにアクセスし、出席画面トップの「ログイン」ボタンより、ご自身のアカウントでログインし、「出席一覧」の「確認・変更・決済」ボタンをクリックすると、出席登録完了画面に進むことができます。

Q パソコンやプリンターが家にないのですが、スマートフォンからでも印刷できますか？

A パソコンやプリンターをお持ちでない場合は、学校や公共施設などのパソコン・プリンターを利用するか、スマートフォンから各種コンビニエンスストアのネットプリントサービスなどをご利用ください。なお、ネットプリントサービス利用にかかる操作方法などのお問い合わせには、本学では対応できません。

Q 誤って学生服を着用した写真をアップロードしてしまいました。どうしたらよいですか？

A 本人確認ができる写真であれば、受験に支障はありませんので、そのまま受験可能です。ただし、合格され、本学に入学手続をする際には、学生証用の写真を別途提出する必要があります。詳細は、合格後に入学課 (03-5466-0141) までお問い合わせください。

■提出書類について

Q 調査書は何通必要ですか？

A 1回の出席で1通必要です。出席用封筒1枚につき1通提出してください。(P.9、13参照)。

Q 一度、出席登録を完了し、出席書類も郵送した後、追加出席をしました。一度目の出席で調査書を送っているため、再度郵送する必要はありませんか？

A 一度、本学に調査書を郵送している場合でも、追加出席をする場合は改めて調査書を同封してください。

Q 出席番号の異なる志願票が複数枚あります。1つの封筒にまとめて送ってもよいですか？

A お手数ですが、出席書類は出席番号ごとに別々の封筒で郵送してください。また、1つの封筒につき1通、調査書を同封してください。

Q A・B日程で英語検定試験スコアを利用する場合、インターネット上での結果通知画面を印刷して提出することはできますか？

A 実用英語技能検定のデジタル証明書プレビュー画面をプリントアウトしたものと、TOEFL iBT®のOfficial Score Reports (Test Taker Score Report) のPDFのコピーは利用できます。詳細はP.9をご参照ください。上記2つ以外の証明書においては、インターネット上での結果通知画面を印刷したものは提出できません。P.9をご参照の上、正式な証明書類を提出してください。

Q A・B日程で利用する英語検定試験の成績表（スコア）はコピーでも大丈夫ですか？

A 実用英語技能検定（英検）・TEAPの成績を利用する場合は、本学において成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。また、実用英語技能検定のデジタル証明書を利用される場合は自身でプリントアウトした証明書を添付してください（デジタル証明書共有キーの提出は不要です）。

TOEFL iBT®は自身のアカウントからダウンロードしたTest Taker Score ReportのPDFのコピーを提出してください。

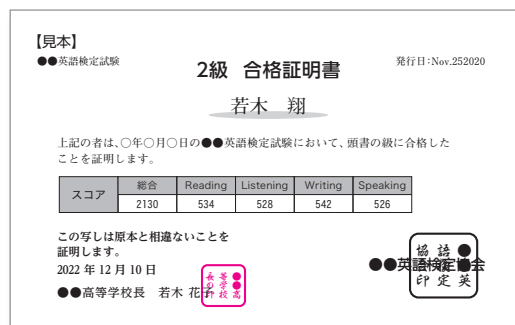
そのほかの検定試験の証明書類は、原本または、原本証明がなされたコピー（Certified True Copy）のみ受け付けます。原本証明付きコピーの作成手順は以下の通りです。

詳細はP.9を参照してください。

I. 在籍学校が証明書の原本であることを確認し、コピーをとる（カラー・白黒は問わない）。

II. 証明書のコピーの余白に、「原本と相違ないことを証明する」旨の文言を記載の上、在籍学校の印または学校長の印を押印する。

III. 在籍学校が厳封（調査書と同封可）する。



Q A・B日程で実用英語技能検定（英検）のスコアを利用する場合、不合格でもスコア利用は認められますか？

A 不合格であっても、証明書記載の4技能総合CEFRレベル・スコア等を満たしていれば利用できます。詳細は、A日程（2/4英語外部試験利用型）はP.24下表、B日程はP.26を確認してください。

Q B日程でGTECのスコアを利用したいのですが、証明書記載のスコアが930点でCEFRレベルがA2です。P.26のスコア換算表と齟齬がありますが、換算点は何点になりますか？

A GTECは受験年度により、同一のスコアでも証明書記載のCEFRレベルが異なる場合があります。GTECの成績を利用する場合は、証明書記載のCEFRレベルにかかわらず、4技能合計スコアに基づいて得点換算を行います。出願登録時のCEFRレベルは「B1」として行ってください。

■受験票について

Q 受験票が届きません。

A 受験票は、大学からは送付しません。UCAROから印刷してください（P.15の「7.受験番号照会・受験票印刷について」を参照）。なお印刷はA4サイズとし、試験当日に持参してください。また、受験票が発行されるのはA日程・B日程のみです。

Q 受験票の記載内容が間違っているのですが、どうしたらいいですか？

A 登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、速やかに入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

Q 学部内併願制度を利用したのですが、印刷できる受験票が1学科しかありません。

A B日程で学部内併願制度（日本文学科と中国文学科）を利用した場合、受験票が印刷できるのはそのうちの1学科（日本文学科）のみです（P.15参照）。

■合否発表について

Q 合格発表はどうやって確認するのですか？

A UCAROの個別合否照会画面で確認することができます。合格・不合格通知書の送付は行いません。

■繰上合格

Q 繰上合格候補者とは何ですか？

A 繰上合格候補者とは、入学手続に欠員が生じた場合にのみ、合格者として認められる資格を有する者です。

Q 繰上合格発表はどうやって確認するのですか？

A UCAROの個別合否照会画面で通知します（P.16・17参照）。

■入試制度・個別の入学資格審査に関する問い合わせ
問い合わせ先 國學院大學入学課
電話番号03-5466-0141（10:00～16:00）

■UCARO／Web出願に関する問い合わせ
問い合わせ先 UCARO・Web出願ヘルプデスク
電話番号03-6634-6494（10:00～18:00年末年始を除く）

※お問い合わせの内容によっては、氏名・生年月日等の本人確認を行う場合があります。

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

www.kokugakuin.ac.jp/admission

《お問い合わせ先》 國學院大學入学課 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL: 03-5466-0141 (直通／平日および土曜日10:00～16:00 ※冬期休業期間は大学HPにてご確認ください。)

